

河西便り



第7号 学び合いの授業づくり①号
2018.6.6 河西中学校

2018.6.1(金)第1回学び合いの授業づくり研究授業実施しました!!

本校では、新学習指導要領で強調されている「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指した授業改善を進めようとしています。

第1回研究授業として「学びの共同体」スーパーヴァイザー(馬場宏明先生)を招いて、本校の藤井先生に提案授業(3年生 数学科)をしてもらいました。市教委の指導主事や他校から多くの教員の参観もありました。

授業では生徒の学び視点を当てて(①どこで学び合いが成立したか。②どこで学び合いがつまずいたか。③どこに学び合いの可能性があったか。)多くの教員で参観し、その後、スーパーヴァイザーから助言・指導をいただきながら研究協議会を実施しました。



共有の課題

教科書から課題を読み取る



まずは独りで考えよう



生徒の学びを観(み)る
(スーパーヴァイザー)



わからなかったら訊こう



訊かれたら応えてね



教員が問いを重ねながら生徒の言葉で説明させる



根拠をもとに説明する



ジャンプの課題(難易度の高い課題)
皆がわかるように説明する事で自分の学びも深まる



説明を聴く姿



教員相互の学び(同僚生の構築)

個人と平等を尊重したグループ

授業は少人数のグループが主体

目的

- ・どの子も学びから逃さない。
- ・どの子も学びに参加させる。
- ・どの子も一人にしない。

形態

- ・グループは3~4人が良い。
- ・男女交互に座るが良い。
- ・質の高い課題が良い。

効果

- ・学び楽しさ、わかる喜び体験
- ・柔らかな人間関係とその成長